

七生福祉園だより



第 261 号 平成 29 年 3 月 27 日

平成29年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は株式会社日本生活介護です。児童施設と成人施設の評価の概要は次のとおりです。

	児童施設（福祉型障害児入所施設）	成人施設（障害者支援施設）
特に良いと思う点	<ol style="list-style-type: none"> 園に対する社会的養護としてのニーズは高く、セーフティーネットとしての社会的役割を果たしている。 事業所の運営方針のもと子どもの意向を様々な形で支援へ反映し、利用者本位の支援の実現に努めている。 安全で活用性の高い園内LANの運用により、利用者サービスの提供やリスクマネジメントの推進等円滑な事業運営が可能となっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 安全で活用性の高い園内LANの運用により、利用者サービスの提供やリスクマネジメントの推進等円滑な事業運営が可能となっている。 活動支援棟では手芸品や智剣作成、無農薬野菜、原木椎茸などを栽培し地域を中心とした販売活動を継続している。 丁寧な就労移行支援と仕事選びを大切にする等により職業定着率が96%となり、「就労者のつどい」は就労者の交流の機会となっている。
さらなる改善が望まれる点	<ol style="list-style-type: none"> 今後園が更に一丸となって歩んでいく支えとして、園が目指すべき方向性を明確にし、職員間で共有することが期待される。 今後、現在行っている多種多彩な研修をベースに、職層別に体系化した園独自の研修体系の策定に期待したい。 人材確保という喫緊の課題に対し、法人本部と連携した積極的な取組が必要である。 	<ol style="list-style-type: none"> 今後園が更に一丸となって歩んでいく支えとして、園が目指すべき方向性を明確にし、職員間で共有することが期待される。 今後、現在行っている多種多彩な研修をベースに、職層別に体系化した園独自の研修体系の策定に期待したい。 手順を標準化する事項と寮による運用の部分を明確にしたうえで、計画的なマニュアルの見直しを期待される。
特に力をいれたい取組	<ol style="list-style-type: none"> 各寮の安全マニュアル作成時に関連図を添付し、危険予知につなげている。 利用者の食生活が安心かつ豊かであるよう、きめ細やかな配慮と取組みを行っている。 支援に関するグループワーク「ななおゼミ」を毎月開催し職員の支援力向上を図っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 利用者相談会での相談内容を、貴重な情報として利用者サービス向上に活かしている。 多彩な日中活動や余暇活動、外出等、利用者の充実した生活への支援に力を入れている。 高齢者の誤嚥リスク低減を図り、摂食状況調査や嚥下内視鏡検査を実施している。

● 詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。(ホームページ掲載は4月中旬となる予定です。)

● 園では評価結果を踏まえ、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。ファイルを閲覧希望の方は、管理課の福祉係にお申し出ください。

<今季のインフルエンザの発生状況>

今季のインフルエンザは、昨年12月25日・26日に児童寮職員の感染が判明し、当人の自宅療養とともに利用者間での拡大を防ぐため、日中活動を自粛としました。その後は1月下旬から2月前半にかけて児童寮において大流行となりましたが、2月下旬には収束しました。健康管理には引き続き十分注意を払いながら対応してまいります。

【感染者総数】49人（A型14、B型33、偽陰性2）

【内訳】利用者延べ38人（A型8、B型28、偽陰性2）・職員延べ11人（A型6、B型5、偽陰性0）



こんねんど りょうしゃ ちいきせいかつい こう にゆうたいしょ じょうきよう
今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況など



(人)

児童課	入所	退所	(退所先内訳)		
			グループホーム	成人施設	家庭
	11	16	11	3	2

成人課	入所	退所	(退所先内訳)		
			グループホーム	他施設	その他
	8	10	3	4	3

【児童課】 今年度の入退所状況ですが、4歳から12歳までの児童11名が新しく入所し、退所した児童は15名でした。グループホームへ地域移行された方は11名でした。

【成人課】 退所された方の内訳としては、グループホームへ移行された方が3名、他施設や病院へ移行された方が4名、自宅へ戻られた方が1名、病院で亡くなられた方が2名でした。

春フェス～ななお～



3月5日(土)、第3回「春フェス～ななお～」を開催しました。春フェスは、「ジュンチ～ノ」によるアフリカ太鼓の演奏から始まりました。羊の皮でできたアフリカの太鼓『ジェンベ』を利用者が一緒にたたくこともでき、とても貴重な経験ができました。田園調布学園大学のチアリーダーサークルは、ジャニーズメドレー等の音楽に合わせてのダンスを披露していただきました。チアリーダーはみんなの憧れで、利用者の中には自前のポンポンを持って、一緒に踊る姿もみられました。日野市ご当地ヒーロー「ドライザー」のヒーローショーでは、利用者が「がんばれー」と大きな声で応援し、ショーの後には一緒に写真を撮ったり、握手をしたりして喜んでいました。最後は七生福祉園の職員バンドによる『風になりたい』をみんなで大熱唱！



3年前に職員有志により始まった「春フェス」ですが、今年度は実行委員会により準備・実施されました。天気の良い暖かな日で、春を感じられ、来園されたゲスト、利用者、職員と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



nanao スナツプ



日中保育 卒室式



(児童)にぎり寿司



(児童)お祝い献立



(児童)おはぎ



(成人)にぎり寿司



(成人)ドリヤ



園内の桜 3/27撮影

そしきかいせい し めいしやう か 組織改正のお知らせ（名称が変わります）

へいせい ねん がついつち しやかいふくしほうじんとうきやうとしやかいふくしじぎやうだんぜんたい ぶもんちやう
平成30年4月1日から、社会福祉法人東京都社会福祉事業団全体で「部門長・グループ
リーダー制」導入に伴う組織改正があり、七生福祉園においても、従来の課・係制度から
新制度に基づく組織・名称に変更されます。

なお、これに伴う事業の変更はありません。

【現行制度】	【新制度】
げんちやう 園長	しんせいど 園長
かんりが 管理課	かんりぶもん 管理部門
かんりがかり 管理係	かんり 管理グループ
ちいきしえんがかり 地域支援係	ちいきしえん 地域支援グループ
ふくしかかり 福祉係	じぎやうすいしん 事業推進グループ
じどうか 児童課	じどうしえんぶもん 児童支援部門
ようごがかり 養護係	じどうしえんだいいち だいに 児童支援第一・第二グループ
かつどうしえんだいいちがかり 活動支援第一係	せいじんしえんぶもん 成人支援部門
せいじんか 成人課	せいじんしえんだいいち だいに 成人支援第一・第二グループ
えんごがかり 援護係	にちちゆうかつどうしえん 日中活動支援グループ
かつどうしえんだいにがかり 活動支援第二係	かつどうしえんだいいち だいにがかり とうごう (活動支援第一・第二係を統合)